

ハッピーキャリア企業表彰wiwiw賞を受賞して マロニー(株) 代表取締役社長 河内幸枝

女性にとって「働きがいのある職場」づくりに取り組んでいる企業を顕彰するという初めてのフォーラムwiwiw賞優秀賞をいただきました。これは、中小企業向けに策定した「ハッピーキャリア」に関する企業評価基準をベースに「働きがいのある」企業を選考したものだそうです。私共マロニー(株)は「男性中心になりがちなメーカーでありながら、女性役員2名を登用、パート定着率の高さ、地域連携や社会貢献などで「働きがい」を感じさせる」という評価をいただきました。当社では男女を問わず、本人の意欲・適正を考慮し適材適所に配置することを心がけています。男性の職場とされている業務についても、経験はなくても興味、やる気のある女性を育成しています。半日有給も10数年前から取り入れました。子供の行事などで有給を回数多く使いたい従業員がこまめに取得できる制度です。「働きがいのある企業」とは、女性にとって活躍できる道が開けている、「働きやすさ」に加え、働いた結果が自分と会社だけでなく社会にも役立っているという意識を持って働ける職場、そういうしほみをこれからの中小企業は作っていかうという視点で考えられたものです。第一回目の受賞で予備知識もなく不安でしたが、当社の持つ課題もたくさん見え、受賞他社さまの取組みも拝聴できて、むしろ学習の機会を与えていただいたフォーラムでした。

(株)ヒサコネイル 代表取締役 山崎比紗子

大阪府下、関西圏を中心に、全国から自治体の男女共同参画や、労働行政の方々のご出席の中、wiwiw賞優秀賞の授賞式が行われました。応募企業の中で、三十項目の予備審査があり、ここで選考対象企業が絞り込まれ、詳しい調査が行われました。

調査内容は、
①人事制度 ②女性の活躍の推進、登用 ③地域連携や社会貢献 ④女性社員からの自社評価
⑤残業削減と育児休暇があるかどうか ⑥非正規社員の処遇
等々の視点について面接、ヒアリングがあり、最終的に弊社を含む四社が優秀賞を頂きました。

私自身が幼児2人を育てながら仕事を両立させてきましたので、女性が仕事と家庭を両立することに関心を持っていました。弊社は開業当初より、ほとんどの社員、スタッフは女性の技術者ですので、結婚、出産、育児等があっても退職せず、希望する条件で働けるよう、フレックスタイム制を取っており、各店舗ごとに出勤日や就業時間を各自で決められるシステムになっています。出産、育児休業制度、退職後の再就職、社内技能研修制度、昇格昇進制度があり、社会奉仕なども20年継続しています。今後もこのような指標に添って、更に働き甲斐のある充実した企業をめざしていきたいと思ひます。

良い社員やスタッフに恵まれて、お陰様で創業30年継続してこられたこと、そして、この度の価値ある賞の受賞を光栄に思い、改めて感謝しております。



平成22年度の主な事業予定(後半)

平成23年

- | | | |
|----------|--------------------|---------|
| 1月19日(水) | 新年互礼会 | 帝国ホテル大阪 |
| 2月 | 経営事例発表会 | 大商会議室 |
| 2月 | 【近畿女性会連合会】理事会&会長会議 | |
| 3月 | 【大阪府女性会連合会】総会&講演会 | |



◆編◆集◆後◆記◆

朝晩が急に冷え込むようになってきました。今秋は適度な冷え込みと、降水量との好条件ですばらしい紅葉だそうです。あれほどの猛暑も確実に時を移し、その自然の営みの何気なさに頼もしさを感じます。

NOW秋号、編集活動を楽しみ進めて参りました。皆さんにも楽しくお読み頂けることを広報委員一同願っております。

お忙しい中、原稿を寄せてくださいました皆様、有難うございました。

(広報委員会)

※掲載している役職は、全て開催当時のものです。

大商女性会 編集発行/大阪商工会議所女性会(大阪商工会議所総務広報部内)
〒540-0029 大阪市中央区本町橋2-8 TEL:06-6944-6211 FAX:06-6944-6250

NOW

Vol. 23 2010年 秋号

平成22年度 通常総会

的場商事(株) 取締役会長 的場ふみ

6月16日(水) 晴、シティプラザ大阪にて、通常総会が開催されました。講演会は、大阪商工会議所第25代会頭に就任された佐藤茂雄・京阪電気鉄道(株)代表取締役CEO取締役会議長による「琵琶湖周航の歌」のお話。心をこめて研究、調査を続けておられる、私たちの知る由もない由来など胸打たれる想いで聴き入りました。このあと全員で「周航の歌」を合唱し思いを駆せた感動の1時間でした。



次に総会では、女性会の歌、活動指針、物故者に黙祷のあと、上西美智子会長より21年度は、例年の事業に加え、視察研修会を行い、多数参加で親睦と個々の成長に寄与出来たとの報告があり

平成22年度 通常総会



ました。議事に入り、「事業報告」や「予算案」などは原案通り承認されました。役員改正年度に当り、会長は上西現会長が再選され、北本みず子、中前怜子両副会長が任期満了で退任。4年間の経験を生かし、今後の女性会に役立てたいと挨拶。池上淳子、大川雅子両氏が新副会長に就任されました。橋本純子副会長より、新入会員紹介があり、希望に満ちた方々を歓迎し、全議案承認され終了致しました。

懇親会に入り、尾崎公子名誉会長から、「会員相互の力を結集し、より良い女性会にしましょう。」との乾杯の挨拶があり、張りのある美声で、「乾パァー!!」で、ゆっくりした一刻に親睦を深め閉会致しました。

立ち止まらない女性達1945~2010

(株)アシスト 代表取締役会長 上西美智子

大阪商工会議所女性会創立50周年記念式典の写真が(財)日本写真家協会創立60周年記念写真展「立ち止まらない女性達1945~2010」に選ばれ、先日、京都市立美術館新館で展示されました。この写真展は、終戦後廃墟の中で立ち上がる逞しい女性達から現在の斬新な女性像まで、時代に沿って展示されました。わが女性会50周年記念式典でのお客さまをお迎えする尾崎公子名誉会長、長谷川妙子顧問、そして上西美智子の三人が手に手を取って笑いながら歩いている写真は、テーマの「立ち止まらない女達」まさに的を得た作品でした。上西が秋の午後のひと時、ぶらりと一人で見てまいりました。



(写真提供: 尾崎名誉会長)

第22回近畿商工会議所女性会連合会総会 和歌山大会

～城のある古き良き街、和歌山へ～

初田防災設備(株) 取締役 中前 怜子



6月2日(水)ホテルグランヴィア和歌山において新緑がまぶしく映える初夏の一日、総会が開催されました。

近畿2府5県53の女性会501名の出席のもと、少しところ狭く感じるぐらい会場一杯、午後1時30分、上西美智子・近女連会長の開会の挨拶に続いて、尾崎公子・近女連名誉会長のいつもの迫力あるお言葉に女性会に対する熱意が来賓の男性方にも、大いに伝わったことでしょう。そして島和代・和歌山女性会会長が歓迎のお言葉を述べられ、議事に移りました。

その後、次回開催地、福井女性会会員様達が福井の良いところのパフォーマンスを披露されました。

第2部：(株)島精機製作所代表取締役社長 島 正博氏

「限りなき前進」～愛と氣と創造でチャレンジする～と題して

幼くしてお父様を戦争で失い、手袋編み機の修理工場アルバイトをしながら、工業高校を卒業し、戦後の食糧難など色々のご苦労をされながら、手先の器用さと、卓越した想像力、優れた頭脳、こだわりの強さで、編み機の研究に没頭し、いくつもの特許を取得され世界一優秀な企業にまで育て上げられました。島社長の人生の歩みは、波乱万丈であったろうに、そんな事微塵にも感じさせない、温厚な腰の低い愛嬌のある笑顔で、とつとつと、心の内を話されたお人柄が会場の皆を魅了いたしました。まだまだ限りなき前進を続けて行かれることでしょう。

引き続き懇親会に入りアトラクションといたしまして和歌山出身の桂枝曾丸氏の和歌山弁を使った落語に爆笑、そして宴に移り岡野路子・京都女性会会長の乾杯の挨拶、和歌山名物のマグロの解体ショーが始まり、まぐろの握りに舌鼓みをうちながら、各地の女性会の方達と交流を深めた一日でした。

和歌山大会は会場の都合で尾崎名誉会長、正副会長、事務局と8名の出席となりました。



第42回全国商工会議所女性会連合会 宮崎全国大会

(株)伊東商事 代表取締役 伊東理彦子



飛行機で到着した宮崎県は、南国特有のむせるような熱気とホストの宮崎女性会のメンバーが熱烈に歓迎してくださり、地域を越えての私たち女性会の結束を改めて感じる次第でした。

長い渡り廊下では、地元の特産物がひらかれていました。

今回のテーマ「エコ」にちなんでマイお箸持参の懇親会会場はシーガイアリゾートのサンフェニックスで、さすがは宮崎県が誇る巨大な施設だけあって、今回の全国大会約2500名を難なく収容していました。オープニングセレモニーは高千穂神楽で始まりました。

また宮崎県の特産品を数々ご馳走していただきました。そして、宴たけなわの時、宮崎県トップセールスマンを自称されている「東国原知事」がスペシャルゲストとして登場され会場は割れんばかりの拍手

喝采と声援で、一段と熱気が溢れました。駆け寄るファンの会員の方もあり、まさに現知事の人気の高さが知れる一場面でした。ウィットに富んだご挨拶は、聴衆の私たちに宮崎県を強く印象づけるものでもあり今大会の意義を存分に発揮できた出来事でした。懇親会のあとは大阪女性会の有志でカラオケパーティーをし、さらに盛り上がりました。

翌16日は総会と記念講演会が催されました。記念講演会は高野由美子・(株)オリエンタルランド取締役常務執行役員より大変貴重で、心おどるご体験をお聞かせいただきました。同じ女性として手に汗握る内容でした。次のエキスカッションでは、工房に立ち寄り、ろくろの回し方を教えていただき、オリジナルの湯呑み作りを体験しました。

この素敵な出会いと美しい宮崎の景色や作物を味わい、今回参加できた大きな喜びとして、また来年の浜松の全国大会にも参加できるよう願っています。



第8回 エネルギー施設見学会

西サンエス管材(株) 代表取締役 金光みちる

7月2日、深い緑と翡翠色の水を湛えた日本最大級の水力発電所黒部ダムの見学に参加しました。放水速度毎秒10立方メートル以上、超大型タンカー1000隻分の貯水量を誇り、私達の生活を支えるエネルギーの源、黒部ダム。そして、地中深くに創られた黒部川第四発電所の地下施設は、映像の世界で数多く紹介され知っていたつもりでしたが、実際に現地で見ると圧倒される雄大な自然と共存して、素晴らしさに言葉を忘れ感動のひとつときでした。そして関西の半分のエネルギーを作る原子力発電も含め、自然と共存するためにCO₂を排出しない安全運動に尽力されている様子など大変多くを学ぶ機会となりました。私達が今、一番大切に願っていることのひとつに自然との共存があります。昭和初期にこのように素晴らしい自然と共存する施設を完成された黒部ダムを見学させて頂く機会に恵まれましたことに心から感謝申し上げます。



大阪府商工会議所女性会連合会平成22年度北部ブロック研修会

久栄工業(株) 取締役 濱田かほる

9月6日(月)、一世紀に渡る時の流れの中で暑さが最高と言われる酷暑の中、茨木女性会の方々には準備段階から開催まで大変お世話になり、感謝せずにはいられません。

総勢106名の参集のもと、講師に児島恵美子・(株)メディセ代表取締役社長を迎え、講演会は女性らしく「ストレス社会をしなやかに生きる為に」で悩みを無意識のうちに表す絵画療法の風景構成法を実施してもらいました。クレパスを持ってと言われるままに書く絵はまるで幼稚園か小学生の絵のようですが、先生がおっしゃるには芸術性より創作過程が重要とか。何十年振りに書いた絵は自分では



解明出来ないの先生に説明して頂き、無意識の意識が何なのか、自分の知らない自分を聞いてみたいと思いました。暇が出来たら主人や子や孫にもテストしてみたらどうかしらと考えました。昼食後、茨木市出身の桂吉弥師匠と前座の桂弥太郎さんの落語を聞きました。

45年位前の茨木市を知っていたのですが、今回行って見るとずいぶん変わって都会になり道幅も広く建物も高く、会場のホテル日航茨木大阪も初体験で、あんな立派な建物が建っていて、永い永い時間の経過を知った一日でした。



大阪府商工会議所女性会連合会 研修交流会

進栄化学(株) 代表取締役社長 能島玲子



秋晴れの9月29日、奈良市の大和ハウス工業(株)総合技術研究所での研修会に参加しました。まず上西美智子・府女連会長は、挨拶で画期的なリチウムイオン電池の開発及び社長をおやじさんと呼ぶ社風を讃えられました。濱 隆・大和ハウス工業総合技術研究所所長の話では、2014年に太陽光発電より生じる余剰電気の買取制度終了後を見越してそれを蓄電する方策としてリチウムイオン電池を開発された由、大和ハウス工業のコンセプト「環境との共生」は自然の風や太陽光をふんだんに取り入れ人間が安心して健康に暮らせる住居が目標だと伺いました。ビデオによる社の沿革の紹介では、パイプハウスからミゼットハウス、これらがプレハブ住宅の原点となり、日本の住宅供給に大いに貢献され、飛躍的な発展を遂げた歴史を映像で確認できました。その後、阪神淡路大震災相当の振動を先ず耐震システムで体験し、次の免震システムでは揺れが受け流され大幅に振動を軽減してくれることを体で実感しました。その後、シニアライフ実験住宅を訪ね、キッチン、トイレ、バスルーム、ベットルーム等全てに配慮の行き届いた素晴らしさに感動しました。一代で1兆円企業に育て上げた故石橋信夫氏の壮大な夢に乾杯!

